

●株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主 確定日	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777 (通話料無料) 〔受付時間9:00～17:00 (土、日、祝祭日、年末年始を除く)〕 ホームページ http://www.tr.mufg.jp/daikou/
上 場 証 券 取 引 所	東京証券取引所
公 告 方 法	日本経済新聞に掲載いたします。

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。
なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。



ホームページのご案内



<http://www.molitec.co.jp/>

当社HPIにおきましても最新のトピックスをはじめ、様々な情報をご案内しております。



IR情報メール配信サービス

Eメールアドレスをご登録頂いた皆様に最新の当社IR情報をEメールでお知らせいたします。ご希望の方はトップページからご登録ください。

CONTENTS

トップメッセージ	P 1
連結財務ハイライト	P 2
部門別の概況	P 3~4
連結財務諸表	P 5~6
環境への取組み	P 7
グローバルネットワーク	P 8
会社情報	P 9
株式情報	P 10





株主の皆様には、平素は格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。
さて、当社第76期（平成28年4月1日から平成29年3月31日まで）の営業の概況をご報告申し上げます。

平成29年6月

取締役社長 永見 研二

営業の概況

営業の経過及び成果

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境は改善しているものの、為替の不安定な動き、英国のEU離脱問題、米国の新政権移行による政策動向の不確実性など先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況下におきまして、当連結会計年度の当期売上高は267億1千2百万円と前連結会計年度比2.3%増加、営業利益は6億9千2百万円と前連結会計年度比74.4%増加、経常利益は5億5千9百万円と前連結会計年度比145.7%増加、親会社株主に帰属する当期純利益は5億3千1百万円と前連結会計年度比150.8%の増加となりました。

セグメント別の売上高、営業利益につきましては、特殊帯鋼、普通鋼等を販売しております商事部門では、売上高は156億7千9百万円と前連結会計年度比5.3%増加し、セグメント利益（営業利益）は6億2千1百万円と前連結会計年度比12.1%の増加となりました。

焼入鋼帯、鋳金加工品を製造販売しております焼入鋼帯部門、鋳金加工品部門では、焼入鋼帯部門につきましては売上高は14億5千4百万円と前連結会計年度比3.4%減少し、セグメント利益（営業利益）は1億8千7百万円と前連結会計年度比0.5%の減少となりました。鋳金加工品部門につきましては売上高は66億5千6百万円と前連結会計年度比3.6%減少し、セグメント利益（営業利益）は7億3千1百万円と前連結会計年度比3.5%の減少となりました。

また、海外事業につきましては、売上高は29億2千1百万円と前連結会計年度比4.4%増加し、セグメント利益（営業利益）は2億7千1百万円（前連結会計年度は8千1百万円の損失）となりました。

なお、前連結会計年度から日輪鋼業株式会社を連結の範囲に含めておりますが、前連結会計年度における会計期間は平成27年10月21日から平成28年3月31日までの5か月11日間となっております。

今後当社グループが対処すべき課題

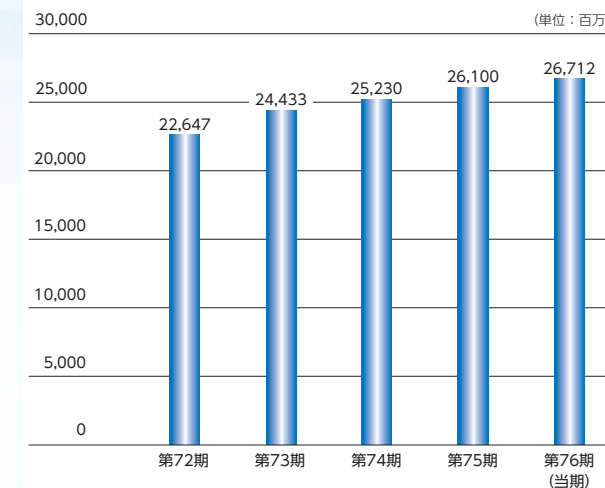
当社グループは、持続的な成長を目指して、特殊帯鋼の専門商社及び焼入鋼帯・鋳金加工品のメーカーとして、特殊帯鋼の市場占有率の向上を図るとともに、特殊帯鋼の特性を熟知した加工技術をもつ強みを活かした製品を自動車のエンジン・ミッション、農業機械、住環境機器などの広範な市場に提供してまいります。

また、価値提案企業として、特殊帯鋼の加工性情報を活用した販売に努め、広幅焼入鋼帯のさらなる市場創造と、自動車エンジン・ミッション分野へのアッセンブリ製品の展開、農業機械分野へのモジュール製品などの高機能な複合製品の展開をさらに強化するとともに、自社ブランド製品の開発に努めてまいります。

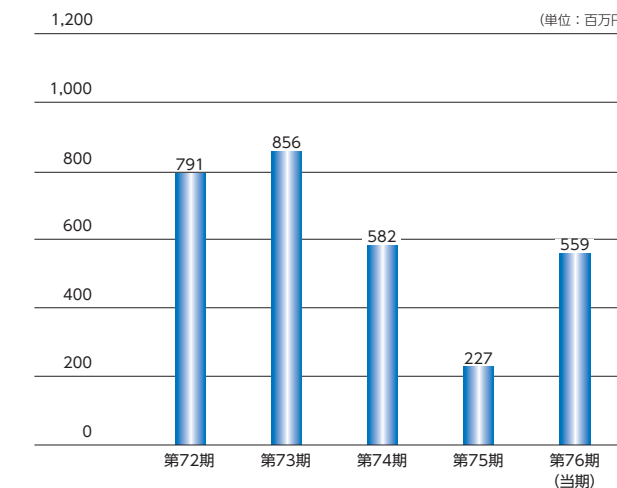
今後の海外市場における需要家ニーズへの迅速な対応と新規需要開拓を積極的に推進するために海外拠点の生産体制、販売体制を強化し、グローバル展開を推進してまいります。

当社グループは、環境保全の取組みを経営上の重点課題の一つと位置づけ、環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001の活動を全社をあげて推進し、環境への負荷低減に努めるとともに、環境にやさしい製品を生産してまいります。

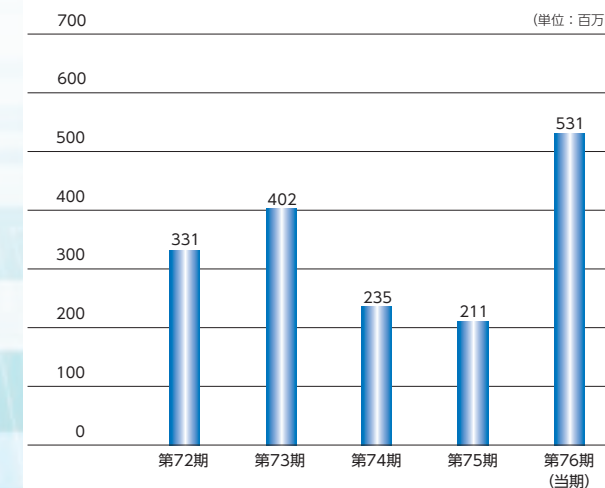
●売上高



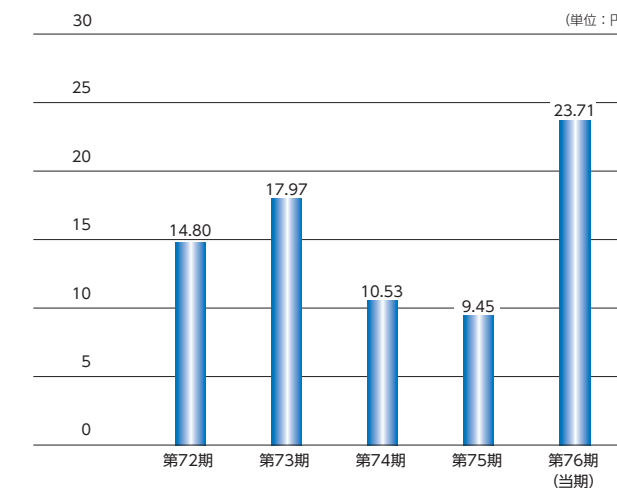
●経常利益



●親会社株主に帰属する当期純利益



●1株当たり当期純利益



部門別の概況

鋳金加工品部門

売上高 6,656百万円

取扱製品

- ・自動車用機能部品
- ・家電用精密部品
- ・農業機械用モジュール部品
- ・ゼンマイ製品
- ・コードリール
- ・金型
- ・各種アッセンブリ製品



自動車部品



CVT部品



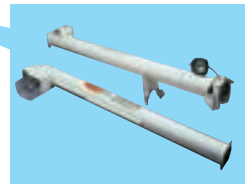
家電部品



コードリール



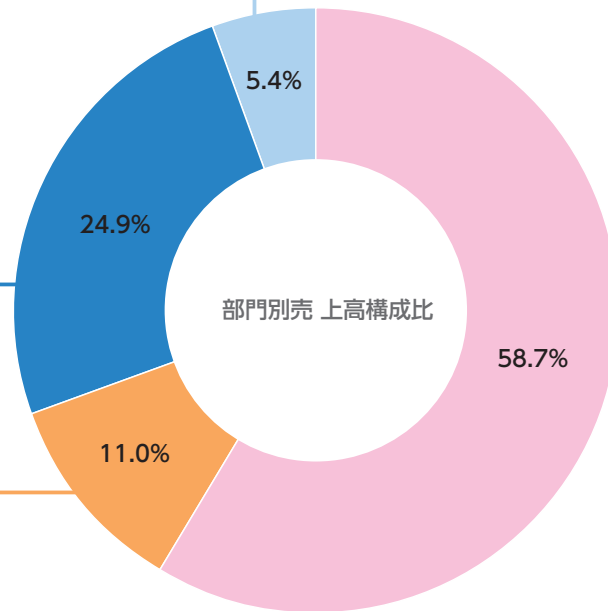
農業機械部品



オーガ

海外事業

売上高 2,921百万円



区分	売上高 (百万円)
商事部門	15,679
焼入鋼帯部門	1,454
鋳金加工品部門	6,656
海外事業	2,921
合計	26,712

焼入鋼帯部門

売上高 1,454百万円

取扱製品

- ・焼入鋼帯
- ・バーナイト鋼帯



焼入鋼帯



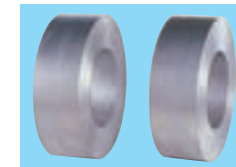
ゼンマイ (用途例)

商事部門

売上高 15,679百万円

取扱商品

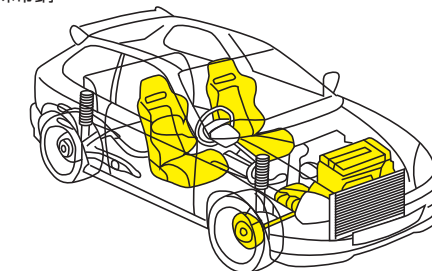
- ・みがき特殊帯鋼
- ・熱間圧延鋼帯
- ・みがき帯鋼
- ・冷間圧延鋼帯
- ・ステンレス鋼帯
- ・ばね用ステンレス鋼帯
- ・表面処理鋼板



みがき特殊帯鋼



ステンレス鋼帯

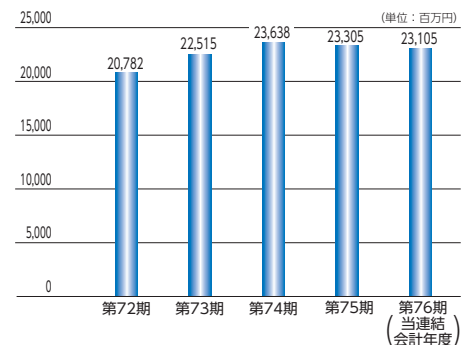


当社取扱商品は自動車部品（エンジン、ミッション、ブレーキ、シート等）をはじめ、各種機能部品に使われております。

連結財務諸表

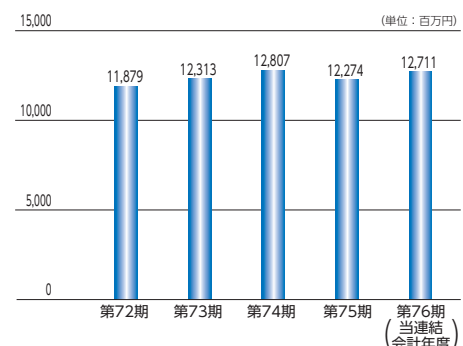
Point① 資産合計

当連結会計年度末における総資産は、前連結会計年度末より2億円減少し、231億5百万円となりました。



Point② 純資産合計

純資産の残高は、主にその他有価証券評価差額金の増加により127億1千1百万円（前連結会計年度末比4億3千7百万円増加）となりました。



(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	前連結会計年度 (平成28年3月31日現在)	当連結会計年度 (平成29年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	14,842,726	14,955,737
固定資産	8,462,368	8,149,279
有形固定資産	6,050,278	5,463,120
無形固定資産	81,775	75,730
投資その他の資産	2,330,315	2,610,428
Point① 資産合計	23,305,095	23,105,016
負債の部		
流動負債	8,340,449	8,140,953
固定負債	2,689,806	2,252,148
負債合計	11,030,256	10,393,102
純資産の部		
株主資本	11,648,249	11,877,173
資本金	1,848,846	1,848,846
資本剰余金	1,469,608	1,469,608
利益剰余金	8,370,329	8,599,271
自己株式	△ 40,534	△ 40,552
その他の包括利益累計額	578,974	775,839
その他有価証券評価差額金	410,875	632,161
為替換算調整勘定	189,949	156,024
退職給付に係る調整累計額	△ 21,850	△ 12,346
非支配株主持分	47,614	58,901
Point② 純資産合計	12,274,838	12,711,914
負債純資産合計	23,305,095	23,105,016

Point② 純資産合計 12,274,838 12,711,914

負債純資産合計 23,305,095 23,105,016

連結損益計算書

(単位：千円)

科目	前連結会計年度 (自平成27年4月1日 至平成28年3月31日)	当連結会計年度 (自平成28年4月1日 至平成29年3月31日)
売上高	26,100,182	26,712,948
売上原価	22,588,550	22,879,481
売上総利益	3,511,631	3,833,467
販売費及び一般管理費	3,114,403	3,140,749
営業利益	397,228	692,717
営業外収益	161,485	91,500
営業外費用	330,939	224,637
経常利益	227,774	559,580
特別利益	375,675	340,445
特別損失	12,626	77,876
税金等調整前当期純利益	590,823	822,150
法人税、住民税及び事業税	316,930	211,210
法人税等調整額	60,806	69,261
当期純利益	213,086	541,678
非支配株主に帰属する 当期純利益	1,287	10,471
親会社株主に帰属する 当期純利益	211,798	531,207

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	前連結会計年度 (自平成27年4月1日 至平成28年3月31日)	当連結会計年度 (自平成28年4月1日 至平成29年3月31日)
Point③ 営業活動によるキャッシュ・フロー	1,191,540	864,215
Point④ 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 116,927	31,069
Point⑤ 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 993,119	△ 912,599
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 73,124	△ 90,802
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	8,368	△ 108,116
現金及び現金同等物の期首残高	4,029,083	4,037,452
現金及び現金同等物の期末残高	4,037,452	3,929,335

Point③ 営業活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益を8億2千2百万円、非資金項目である減価償却費を6億2千万円計上したほか、売上債権の増加5億2千2百万円、仕入債務の増加1億8千3百万円、法人税等の支払い3億3千2百万円、たな卸資産の減少2億1千万円等により、8億6千4百万円の資金増加となりました。

Point④ 投資活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度における投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得による支出7億6千1百万円、固定資産の売却による収入8億1千1百万円等により、3千1百万円の資金増加となりました。

Point⑤ 財務活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度における財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出6億5千3百万円、配当金の支払い2億2千3百万円等により、9億1千2百万円の資金減少となりました。

環境への取組み

グローバルネットワーク

ISO14001 (環境マネジメントシステム規格) 認証取得

三重大山田工場	取得日: 2002年5月10日	ジュタワン・モリテック (タイランド) 株式会社	取得日: 2007年1月16日
宇都宮工場	取得日: 2004年6月25日		
本社・営業部門	取得日: 2006年4月28日		

当社グループは、海外市場における需要家ニーズへの迅速な対応と、新規需要開拓を積極的に推進するために海外拠点の生産体制、販売体制を強化し、グローバル展開を推進しております。

1 環境に対する取組みと考え方

当社グループは環境保全への取組みを経営上の重点課題の一つと位置づけ、あらゆる面での環境への負荷低減に努めるとともに、環境保全に配慮した製品を提供すること(設計開発、生産工程、原材料、物資の投下及び廃棄、物流等の各過程において省資源、省エネルギー、リサイクル等への配慮)、また法令順守はもとより、環境教育の強化を図ることによって持続的に発展が可能な社会の構築に貢献してまいります。

2 環境への配慮

室内物干し器
「くるリング」



充電スタンド



安全・安心の業界初「無接点方式」EV/PHV用ケーブル自動巻取り式充電スタンドは、現在、お取引企業様やゴルフ場などの駐車場に設置いただいております。

3 製造部門におけるCO₂排出量の削減

当社はCO₂排出削減に取り組み、2015年度生産原単位(t-CO₂/t)対比で毎年1%以上削減の自主目標を掲げ、その実現に向けさまざまな取組みを推進しております。

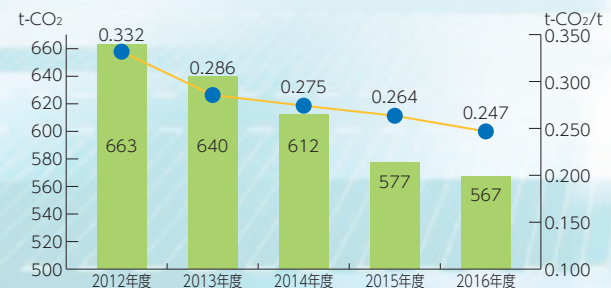
製造部門では2016年度通期でCO₂排出量(t-CO₂)は、577(t-CO₂)が567(t-CO₂)となり1.7%の削減となりました。生産原単位は、月平均生産量が2015年度対比で5.3%増えた結果、0.247(t-CO₂/t)と2015年度対比で6.4%減となり目標を達成しました。

引き続き生産効率向上に努め、CO₂排出量削減目標達成に向けて取り組んでまいります。

水資源の保全活動として、三重大山田工場では効率的な水の利用と汚染防止に努めており、生産活動での水使用量の削減と、循環利用の拡大に取り組んでおります。

地球温暖化防止や資源循環など持続可能な社会を目指し、今後も会社を挙げて目標達成に向け取組みを進めてまいります。

過去5年間の製造部門生産原単位とCO₂排出量推移(月平均) CO₂排出量(左軸) 生産原単位(右軸)



・CO₂排出量については、各年度環境省公表の排出係数にて算出



会社情報

■ 会社概要

商号 モリテックスチール株式会社
 創業 昭和18年5月
 設立 昭和25年11月
 資本金 18億4,884万円
 従業員 494名(連結)

■ 役員

取締役会長 (代表取締役)	清水 正廣	監査役(常勤)	五島 吉朗
取締役社長 (代表取締役)	永見 研二	監査役(常勤)	森 剛之
専務取締役 執行役員	赤尾 正則	監査役(社外)	中田 康浩
専務取締役 執行役員	木村 慎一	監査役(社外)	藤谷 和憲
常務取締役 執行役員	松下 善紀		
常務取締役 執行役員	門 高司		
取締役 執行役員	谷口 正典		
取締役 執行役員	森 泰之		
取締役(社外)	阪口 誠		

■ 事業所所在地

◀国内▶

- 本社：大阪
- 営業拠点：大阪、東京、愛知、広島、北海道、福岡、宮城
- 工場：三重、栃木
- 開発拠点：京都



株式情報 (平成29年3月31日現在)

■ 株式の状況

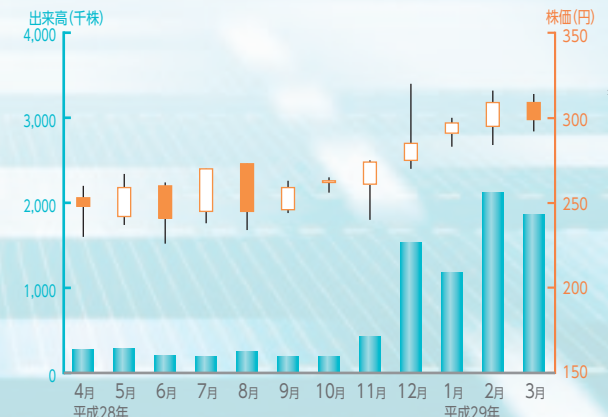
発行可能株式総数 50,000,000株
 発行済株式の総数 22,405,987株
 (自己株式152,076株を除く。)
 単元株式数 100株
 株主数 4,503名

■ 大株主の状況

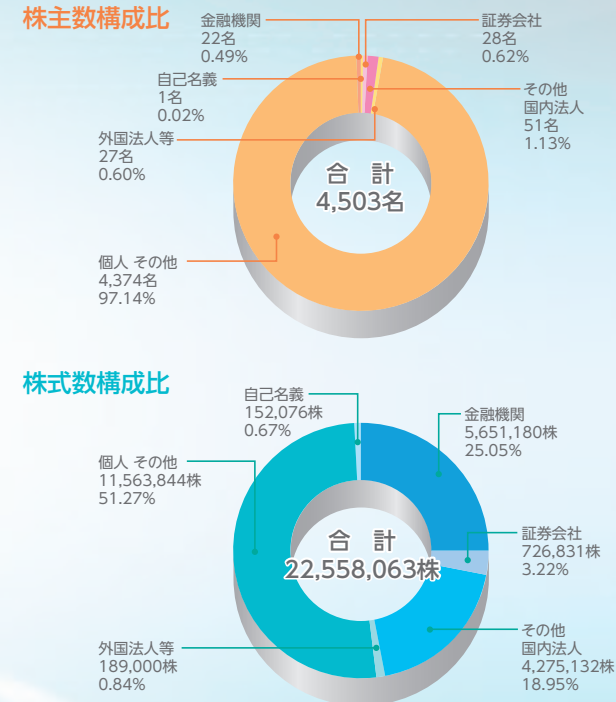
株主名	持株数 千株	持株比率 %
日新製鋼株式会社	2,244	10.02
株式会社メタルワン	1,328	5.93
日本生命保険相互会社	1,270	5.67
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,110	4.96
株式会社近畿大阪銀行	960	4.29
大同生命保険株式会社	600	2.68
モリテックスチール従業員持株会	492	2.20
森 文子	492	2.20
森 浩之	466	2.08
第一生命保険株式会社	450	2.01

(注) 持株比率は自己株式(152,076株)を控除して計算しております。

■ 株価推移表



■ 株式の状況



■ 1株当たり年間配当金(円) 配当性向の推移(%)

